

健康的な生活を支援する持続可能なまちづくりへの基盤的研究事業

【新規：推進枠】令和5年度概算
要求額：100,003千円

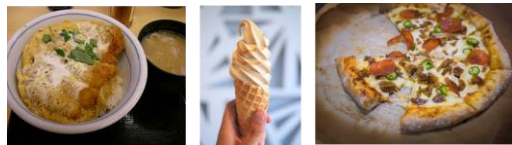
令和5年度～令和9年度事業

課題と目標・出口戦略

- (課題) これまで健康的な生活を支援する際、自治体、事業者の枠組みに止まり、「全ての人々が元気に活躍し続けられる社会、安心して過ごすことの出来る社会づくりに資する」ための仕組みについて、健康面・環境面の双方からの取組を進めながら、持続可能なまちづくりを目指すシステムは見当たらない。
- (目標) **食行動と身体活動行動をリンクさせた枠組みにより**、日常生活において食品の購入履歴、食事摂取、身体活動等のモニタリングを通じ、健康的な生活を可能とする生活環境を支援し、持続可能なまちづくりに貢献する。
- (出口戦略) 研究成果を公開し、広く民間事業者等の参入を促進する。

事業の概要

1. 栄養バランスや持続可能性を意識した食品構成転換支援のためのWebアプリ開発



- ・栄養バランスや持続可能性に配慮した食品購入を求める人々への訴求
- ・企業の努力を指標として「見える化」※従来より〇%減塩 等

2. 日本版栄養プロフィールの開発・行動変容に向けた研究

- ・消費者の購買行動に対する包装前面表示（FOPL）、POPでの情報提供、陳列における手取りやすさの工夫、減塩商品を用いたメニュー（リーフレット）の提案等により、購買時における行動変容を促す方法を検証する



3. ライフコースと生活様式に合わせた、個人別身体活動量の提示に向けた研究

- ・二重標識水によるライフコース・生活様式別総エネルギー消費量と、身体活動別のエネルギー消費量のプロフィール作成
- ・個人に即した身体活動量の提示（休み時間、放課後や退社後のメニュー）によって、意識せず身体活動が実施可能となる



4. 国際指標を用いた、食品関連企業等の健康への取組み方針の評価研究

- ・肥満や非感染性疾患予防に向けた、企業の包括的戦略に対する取り組みの評価
- ・摂取量に注意を要する栄養素を多く含む食品の子どもへの曝露の抑制
- ・より健康に配慮した商品へのアクセス性の評価



自然に健康な食生活の実現へ



食生活のバランス

健康寿命の
延伸へパフォーマンス
向上意識せず
健康になる

期待される成果

- ・本事業の成果により、食や身体活動の社会実装が加速し、環境負荷をかけることなく、まちで過ごす全ての人々が意識せずに健康的な生活を送ることができるまちづくりに貢献する。